



QRコード対応の携帯電話をお持ちの方は、画像を読み込み、サイトにアクセスしていただくことで、県政報告会の様子をご覧いただけます。



海東英和県議会議員事務所 〒520-1501 高島市新旭町旭1-8-5 電話 0740-25-0777 FAX 0740-25-0778 Mail: web\_info@hi-kaito.com ホームページ http://hi-kaito.com

児童相談所虐待対応ダイヤル 189



「子どもの笑顔がいちばん」 第12回びわ湖一周オレンジリボンたすきリレーが、令和2年10月17日に開催されました。11月の児童虐待防止推進月間を前に、びわ湖こどもの国をゴールに、大津からぐるっと18区間をリレーしてこられました。2006年7月高島での2歳児虐待死を機に「CFRびわこ」さんらが取り組んでくださっています。

12/5 滋賀県ヨシ群落保全地域の針江浜で、刈り取り作業の開会式に出席くださった皆さん。大岡敏孝環境副大臣もご参加下さいました。残念ながらボランティアは、減少傾向です。びわ湖の保全再生について、流域全体で考えていく必要があります。

下水道料金 格差是正 検討組織設置へ

高島処理区は、湖南中部処理区と比べ2倍以上の下水道料金になっていきます。これまで処理区ごとの独立採算を前提に経営されてきました。公共料金の格差問題として問いかけを続けた結果、以下の答弁を頂きました。

令和4年度に委員を委嘱し、様々な角度から研究・検討を進める場の設置姿勢が示されたので、よき議論がなされるよう、市と協力して対応して行きます。

三日月知事 「今回質問いただいております下水道事業経営に関する研究会につきましては、議員ご提案の内容も含め、さまざまな観点から持続可能な下水道事業運営に向け、検討・研究を進めていくための場として、設置する準備を進めていきたいと存じます。」

Table with 2 columns: 処理区 (Treatment Area) and 単価 (Unit Price). Rows include 湖南中部処理区 (47.3円), 湖西(大津)処理区 (67.4円), 東北部処理区 (61.6円), 高島処理区 (100.9円), and 試算統一料金 (56.0円).



第20回全国菜の花サミットで幕

高島市新旭町で第1回サミットを開催して以来、全国を回り持ちながら開催されてきました。12月11・12日に栃木県小山市で第20回サミットを開催し、締めくくりとすることを決定しました。国産の菜種油の貴重さや、健康に良好な性質のナナシキブなどの改良品種はオリブオイルに匹敵し、天ぷらなどに使って、廃食油回収され精製されると、地球にやさしいバイオ・ディーゼル燃料となります。

これからどうしていくか、未来から問われています。



11月定例会 看護・介護・保育者等の処遇改善他に

282億9800万円の補正予算を可決し、令和3年度予算を7704億4千万円としました。コロナ関連で通常年より約2000億円多くなっています。コロナの第6次感染対策、PCR検査費用、経済の活性化対策や生活困窮世帯対策の予算が盛り込まれています。高島高校のトイレ改修は、設計ができましたので、来年夏休みに工事着手の見込みです。

熱視線 廃食油回収に

イギリスで開催された国連気候変動枠組条約の第26回会合では、航空燃料にも植物由来の燃料(SAF)を混合すべしとのルールが話し合われ、日本でも航空会社による植物系廃食油再生燃料(BDF)の獲得合戦になっていきます。琵琶湖のせつけん運動から、廃食油の回収が定着している私たちの暮らしは、世界のお手本です。改めて、子や孫に少しでも健康な地球を渡すために賢い暮らしを考えて実行して参りましょう。



河野太郎自民党広報本部長と懇談 12/23に、前ワクチン担当大臣とこれからの広報、ネットの活用他について意見交換。



11/27小鍵隆史参議院議員の語る会で、林芳正外務大臣が来県。河野氏、林氏と東京財団の幹塾で一緒にいました。意気新たに働きます。

関西広域連合でカワウ対策 関西広域連合議会産業観光常任委員会、府県を跨いで移動するカワウ対策強化を要請。京都、岐阜とも情報交換し、効果的な駆除に取り組みとの広域環境担当の三日月知事の答弁でした。

耕運記



菜の花サミットの間では、環境にやさしい農業の発表が続き、トキやコウノトリが生育・繁殖できる環境は、エサとなる多様な生き物が沢山いる証であり、生物多様性はコメの価格を上げてくれる事例を沢山聞きました。高島にもコウノトリが時々飛来します。コウノトリは今や豊岡だけの話題ではなく、冬水田んぼや有機栽培の振興で、関東でもコウノトリの生息圏が広がっており、そこで作られたコメが、高値で流通しています。給食用に有機栽培のコメや野菜を契約栽培する町が消費者にも支持される時代になったと実感しました。自然の摂理に沿う高島の暮らしに、理解者や応援団が増える時代が来たのです。ラムサールや世界農業遺産も好機に繋がれましょう。